

2014年「アルミ業界重大ニュース」について

2014年12月26日

(一社)日本アルミニウム協会

項 目	コ メ ン ト
① アルミ製品総需要、6年ぶりに400万トへ	消費増税後の反動減が懸念されたが、ボトル缶、トラック向け、輸出を中心に需要は堅調に推移し（2014年1～10月までの総需要は342.5万ト、対前年同期比：+4.7%）、通期では6年ぶりに400万トを超える勢い。
② 日本のアルミ製錬事業、80年の幕を閉じる	日本軽金属㈱・蒲原製造所は3月末でアルミ電解事業を終了した。これにより、1934年に始まった日本のアルミ製錬事業は80年の幕を閉じることとなった。
③ ミルク入り缶コーヒーにアルミが採用、アルミ缶材の需要拡大へ	4月に発売された「ジョージア・アイスコーヒー」（400g）、11月に発売された「ジョージア・エメラルド・マウンテン・ブレンド」（185g）などのミルク入り缶コーヒーにアルミが採用。今後、アルミ缶材の需要拡大が期待される。
④ アルミ企業の海外展開、加速度強まる	三協立山㈱が米アルミ圧延大手・アレリス社のアルミ押出部門を買収、㈱UACJが自動車用アルミパネルで米国に、三協立山㈱が非建材分野でタイに、昭和電工㈱が自動車用アルミ部品の鋳造拠点でマレーシアに進出、㈱神戸製鋼所がサスペンション事業での米国・中国拠点の能力増強を進めるなど、アルミ企業の海外展開が加速。
⑤ アルミ協会、中国アルミフォーラムでの交流復活	11月、中国・雲南省で開催された「2014中国アルミフォーラム」にアルミ協会から2年ぶりに石山会長（日本軽金属ホールディングス㈱代表取締役社長）が招待され、開会式で挨拶。尖閣問題により2012年は参加取り止め、2013年は事務局のみの参加であり、今回の石山会長の招待は日中のアルミ業界の交流復活を示す記念的な出来事。
⑥ リチウムイオン電池向けのアルミ箔、過去最高へ	アルミ箔の需要分野の中で、リチウムイオン電池向けが過半を占める「電気機械器具・その他の電気機器」の1～10月の出荷実績は16,340ト（対前年同期比：+9.5%）と、過去最高だった2013年の17,941トを上回るの確実な情勢。
⑦ アルミ協会、土木分野へのアルミ需要拡大に注力	5月、アルミ協会は冊子「アルミで安心―災害・防災・防犯に活躍するアルミ製品」を発行して国土交通省や全国の自治体等に配布、11月には橋梁のアルミ化を目指し「橋梁アルミ化検討ワーキンググループ」を発足。それらと平行して、国土交通省道路局や地方整備局へ各種アルミ土木製品をPRして回るなど土木分野へのアルミ需要拡大に注力。
⑧ アルミ缶リサイクル率、83.8%と大幅低下	6月、アルミ缶リサイクル協会は、2013年度のアルミ缶リサイクル率が前年度比10.9%減の83.8%と5年ぶりに90%割れになったと発表。ノベリスの再生工場稼働開始に伴い、韓国にUBC（使用済みアルミ缶）が流失したことが背景にある。